

平成27年白老町議会産業厚生常任委員会会議録

平成27年 7月21日（火曜日）

開 会 午後 1時00分

閉 会 午後 1時48分

○会議に付した事件

所管事務調査

1. 「町立病院の現状について」（報告書のとりまとめに向けて）
-

○出席議員（7名）

委員長 西 田 祐 子 君	副委員長 広 地 紀 彰 君
委員 氏 家 祐 治 君	委員 大 淵 紀 夫 君
委員 松 田 謙 吾 君	委員 吉 谷 一 孝 君
委員 及 川 保 君	

○欠席議員（なし）

○職務のため出席した事務局職員

主 査 増 田 宏 仁 君
書 記 葉 廣 照 美 君

◎開会の宣言

○委員長（西田祐子君） ただいまより産業厚生常任委員会を開催いたします。

（午後 1時00分）

○委員長（西田祐子君） 午前中に産業厚生の方科会ということで、町立病院を守る友の会の皆さん方と懇談させていただきました。それを踏まえまして前回所管をとらせていただきました事務調査結果も踏まえまして、本日は報告書の取りまとめをしたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

最初にこの報告書なのですが、これは前回いただいたやつそのままのまだこれを前回のときと何ら変わっておりませんので、それだけのご了承お願ひしたいと思います。その中で特にここだけはきちっと載せて欲しい、または委員会としてのまとめのご意見いただければと思ひます。よろしくお願ひいたします。委員の皆さん方ご意見はございませぬか。

広地副委員長。

○副委員長（広地紀彰君） 広地です。取りまとめのほう大変ご苦勞様でした。それで取りまとめの中で委員会の意見をということになってこようかと思ひのですが、前回までのこの常任委員会の中で、最初視察もしたらどうかというご意見もいただいていたのですが、それぞれ改選期を迎えてその後責任を持って自分の意見として責任を持つ立場になるかならないかという部分になるので、今回は視察はやめて平成19年の議会も巻き込んで取り組んだ当時の意見を振り返り、またこれから3連携もする中で新しい病院のあり方について議論すべきだということで自由討議をしてはどうかという意見もいただいていたので、それで私としては確かに私自身も調査させていただいた内容等もあったので、ぜひ一度これまでの議論をし、そして新しい病院のあり方もさらに今回の方科会も開きましたので議論を含めながら、一度自由討議の時間をもってその上でまとめるということやってはいかがかと考えます。

○委員長（西田祐子君） 氏家委員。

○委員（氏家祐治君） 氏家です。今副委員長の言われたこともそのとおりだと思ひますし、そういった時間を設けてしっかりまた意見交換できればそれはそれでいいと思ひます。ただ一つこれがいい悪いは別にしてちょっと私の思うところなのですが、今回のこの委員会報告の中で院長との懇談があります。ちょっと僕が気にかかっているのは、視察をしてそのあと公式か非公式か別にしても院長とのざっくばらんな懇談だということお話をさせていただいた部分だと思ひますよ。それについてここに院長との懇談という形の中で載せてしまうのは果たしてどうなのかなということ個人的に思ひます。もしこれを載せるのであれば例えば今広地副委員長の言われており、自由論の中で多分この辺の中にも出てくるでしょうから、こういったものを意見として出されてはどうかと思ひますが、その辺についてはちょっと皆さんのご意見を伺って整理してみてもどうでしょうか。

○委員長（西田祐子君） つまり氏家委員はこの院長との懇談について、院長と懇談という

ころで載つけるのではなく、委員会としての意見として載っているのならいいけどもということでしょうか。もうちょっと詳しく。

○委員（氏家裕治君） 今、委員長のいったとおりの懇談は懇談として行ったのだけど、現状だとか課題だとかはその中ではある程度は明確になってきていました。その中で委員会として意見をつけ加えるならば、委員会の意見として上げていくのならいいと思うのです。ただ院長との懇談という形の中で載せるとその院長も正式な場でないから言えることもあったのかなと思うのです。これからも多分こういうことがあるのかもしれない。そう思うとこの部分というのは、やっぱりもし上げるとすれば委員会としての意見という形の中で上げたほうが僕はいいような気がしたもので、皆さんの意見を伺いたいと思います。

○委員長（西田祐子君） 今、二つの意見が出ていますけれどもどっちから先にしますか。まず自由討議の件について先にしますか。自由討議については、この委員会で自由討議をさせていただくということですのでよろしいですね。それを踏まえまして皆さんから自由討議がよろしいということで氏家委員からの院長との懇談についてのご意見ございましたけれど、ほかの皆さんはどのようなご意見をお持ちでしょうか。自由討議ですので自由にご意見いただければと思います。

吉谷委員。

○委員（吉谷一孝君） 私も院長との懇談の件については氏家さんの意見と同じです。もしこれをこの形で載せるとなればやはり院長の確認をとった中でしなければ、まずいのかなという部分があるのでこの部分はもしこういうふうに乗せるのであれば院長の確認を取るかもしくは自由討議の中でこの部分を入れるかという形のほうがいいかというふうには僕も感じました。

○委員長（西田祐子君） 及川委員。

○委員（及川 保君） 院長との懇談の部分での話なのですが、ただまさしく懇談という意味合いにおいてはここに当時の院長の意見がこの中にさまざま入っているわけですから、それは公式、非公式にかかわらず懇談というものにおいては難しいかなと、正式な会議に報告するわけですから。ただ実際にこの委員会が院長と懇談しているわけです。ですから、そのことはきちっとやっぱり入れるべきかなと思います。その中身については今意見あったように、この委員会の意見としてきちっと院長の意見もここに載せていくべきだなというふうに思います。懇談はきちんと行ったということは、この委員会でやっているわけですから載せるべきだなというふうに思います。すみません、入っていました。私はこれでいいかなと思います。

○委員長（西田祐子君） 及川委員、これは載せないほうがいいと。

○委員（及川 保君） 載せないで前段階に入っているから、この委員会の院長の意見を委員会として載せてはどうかと。

○委員長（西田祐子君） 一つよろしいでしょうか。これ全体を載せるならちょっとやっぱり問題かなと思うのですが、ただこの意見の中で何行目ですか。下から9行目のところから下から4行目までのところの、病院改築に向けた方向性については国が示す新たな公立病院改

革ガイドラインや道が策定する「地域医療構想」の動向も踏まえながら、町立病院として最低限必要な機能に加えて、町民の望む機能、新たな診療科を設置した場合に、どれだけの町民負担が発生するかも含めた形で、病院として町に対し提案する意向であり、現在「町立病院改築基本方針策定検討委員会病院専門部会」において議論進めているところである。このところは載せてもいいのではないかなと思う。院長が懇談の中でこのように述べたと。そこだけ載せてあとは削除すると。

広地副委員長。

○副委員長（広地紀彰君） 委員長がまとめられた形で賛成です。今、院長が触れた部分についてこれは客観的事実ですのでこのままで構わないかと思います。あと院長との懇談の中で院長とのお考えとして若干示されている部分があります。これを委員会の意見の中で院長との懇談の中でこういった声も聞かれたと。それに対して委員会としても、そういった委員会の意見の中でこの院長との懇談のやりとりは生かせるかと思います。

○委員長（西田祐子君） この部分だけは生かすという形で、これはそしたら院長との懇談の中に載せないで、委員会のほうとしてはこれを述べさしていただくという形にするということでしょうか。大淵委員それでよろしいでしょうか。松田委員よろしいですか。

それでは、ほかの委員に討議させていただきたいと思えますけれども今回の議会としての報告のとりまとめについてご意見をいただきたいと思えます。

広地副委員長。

○副委員長（広地紀彰君） 広地です。私がいった意見なので、ちょっと自由討議、今でも十分な情報をお持ちの議員もいらっすあるかと思うのですが、最新のちょっときょうは自由討議の用意をしてなくて、いろんな病院の実例だとかあと考え方とかを一定の資料をもしある方はそれを取りそろえながら議論をしたほうが深まるのかなと。きょうも友の会さんとの懇談もあって具体的な町民の声も聞かれたので、一旦ちょっとこれも整理しながら自分の考え方としてまとめてからやったほうが身があるのかなと思うので。後日改めてきちんとやったほうがいいのではないかなと思えますので、皆様のご意見を伺ってみたいと思えます。

○委員長（西田祐子君） 後日、自由討議をしたほうがいいと。氏家委員。

○委員（氏家裕治君） 私も大した資料というよりも一度ある程度今までの中で精査して、そして個々の意見を討議の中でさせていただいてそこで委員会として合意できるものしっかりとまとめていくという形のほうがいいような気がします。ですから、きょうの分科会でのいろんな議論をしながらやって懇談も通しながら得た情報、そして一人一人の考え方みたいなものを改めて時間をつくっていただいて討議したほうがいいのではないかと思えます。

○委員長（西田祐子君） それでは自由討議は後日というご意見がございましたけれども、後日どのような形で自由討議をさせていただいたらいいのでしょうか。意見を取りまとめる、個々の意見の取りまとめということなのですから。

広地副委員長。

○副委員長（広地紀彰君） 広地です。イメージなのでございます。例えばですけども、私自

身で考えているのは大病院との連携のあり方だとか、今電算カルテの電算化が進んでございませぬけれども検査した内容や血液検査、尿検査の内容も全てその連携している三次医療圏の拠点病院だとか、そういったことと連携とれるような今制度がどんどん進んでいますから、だからそういうことを新しい病院に向けてそういうことで考えていくべきだとか、そういったこと。本当は資料があるのですけれども、今口答で恐縮なのですけれども、ただそういういろんな多分、知識やお調べになっている内容があると思うのですよ。一言を各自から出していただいて、どういうふうにしたほうがいいのじゃないか。そういった議員同士の質疑もあっていいと思うのです。自由な中で委員会としてこういうことが大事にしていきたいというようなことが見えてくるのではないかなと思います。

○委員長（西田祐子君） 松田委員。

○委員（松田謙吾君） 松田です。先ほどの中で大淵委員から、いろいろなスケジュールの日程について話がありました。あの話を聞くとまだまだ先の話なのだけれども、本来この病院づくりの大切なところは、先ほど友の会の方々にも私らもその検討委員会に入れてくれないかという話もありました。私は幾ら議会がいろいろな自由討議をしたって何の意味もないと思う。私はやっぱり行政側もこの検討委員会、町立病院改築基本方針策定検討委員会病院専門部会というのでできているわけですから。本当の病院の方針でどんな方針なのだと。それから戸田町長の考えって何なのだと。戸田町長も10月の選挙でいなくなるかもしれないのです。いると思うのだけれども。選挙ですから、わかりませんよ。そういう方針からいくとの現戸田町長のきちっとした病院の方向性というものが示すべきなのですよ。この検討委員会に示しているかもしれませんよ。その現町長の意志がこの検討委員会で反映をされて結果の検討の専門部会が戸田町長も次のステップの意志をきちっと聞いた上で、そして今検討しているかどうかということがこのところはっきりしなければ、ただ、いくら何つくれかにつくれ、透析つくれと云って病院の定数も何人にするかわからないなかで、いくら自由討論しても私は意味があるのかなと思う。やるならば、この検討委員会、専門部会と今まちがどんな考えでいるのか。それから、次の選挙はあろうがなかろうが今やっていること継続していくわけなのです。ただ継続していくのだけれども、元町長の考え方をきちっと考え方のうえでたって、そして次に誰がなろうとそれを継続していくような、意見交換でなければ私は何の意味もないような気がするのだ。ただやっているだけにすぎないのだ。過去を見てもきょうも私ちょっと話したけれども、16年に病院をつくるのだからあれだけ調査してですよ。そして考えて考え抜いて5年間も考え抜いてつくったという、病院の方針もどこかにいってないのですよ。そして25年に建築するとはっきりいっているのにこれも何もなくなっている。あげくの果てにやっている最中にこの方針も飛んで病院は廃止するとまで出てきたのです。そういうことからいくと、今29年、30年に建てるという話をきちんとした方向性も示した中の討論でなければ私は何の意味もない。過去の例からいって。ですから私はそこのところやるのだったら、この検討委員会から検討委員会で町民の意見や将来像この行政としての。そこに議会の意見はどうんなのだということ取り入れて検討するのかどうかということがこのことがきちとなければ私は今までと同じことなの

です。きょうも言ったけれども14年に行政改革委員会から始まって、もう13年にもなる。それでまだ今こんなことやっているのだから。これ以上もっと悪くなった財政状況からするとそんな簡単なものではない。ですからその辺をきちっとわきまえた自由討論でなければ、やる意味は一つもないと思います。

○委員長（西田祐子君） 広地副委員長。

○副委員長（広地紀彰君） 今言った松田委員のような意見も踏まえて、きちんとテーマについてもっとやれば良いと思うのですよ。ただ、それぞれの考えをという形ではなくて、全てテーマをもってやると。これまでの総括の部分だと思うのです今。かつて平成19年を頂点にしながら議会も視察に行きながらまとめました。結果的にはその意見は若干違う形の今現実になっておりますけれども。それに対してその姿勢でとっております。新しいことを考える前にそれも踏まえらるべきだと思うのです。だからこれまでの議論に対しての町側の姿勢だとか、そういった議会としての対応、そういう部分も議論のテーマの柱の一つになってもいいと思います。あとはこれからの議論というのも私は町側からまだ意見は出ていません。だからこそ言うべきだっていう話が確かこの常任委員会の1番最初の所管を取った時に議論で盛り上がったと思います。自由討議をやらないとだめだ。議員同士もちゃんと議会は町側が考え方を待っているだけではためだと。自分たちのこういう病院にしたほうがいい、するべきだと。そういう意見がありきちっとやっ払いこうという話で盛り上がったと私は思っていたので、そういったこれからの病院づくりでこれだけは絶対だめだと。きょうも守る友の会の方との懇談で素晴らしい意見ありました。やっぱり3連携を進めるべきだと。あれはもう本当に町側にそのまま出しても非常に意味のある提言だったと思うのです。思いつきじゃないのですよ。だから、ああいうことって病院を建てる場所にかかります。それは素案を示されてからでは恐らく相当大変だと思うのです。だから、であれば委員会としてこういうな場所でこういう機能を持たせると。そういった部分も十分やっ払い議会として議論すべきという意味はあるのかなと思うので、そういうテーマがこれまでの形で総括成り立つとして今後のあり方については、このような形で意見し合えればいいのではないかなと思います。

○委員長（西田祐子君） 松田委員。

○委員（松田謙吾君） なぜこんなことをいうのかというと、本来は行政というのは誰が変わろうが時代が変わろうが継続なのです。病院もあるのです。しかしながら今のトップが一回廃止にしたのです。廃止したということは、前の調査もみんなぼつになってしまうのだ。正直言って。それから、今度は前につくろうとした時代と人口もどんどん減ってきている。人口減少、高齢化率も違う。それから、今後病院つくろうとしても今58だけれども、恐らく35が私は限度だと思っている。これは私の考えです。そういうことからいって、そして、今の前町長が継続するといいいながら廃止をする。この廃止にするっていうことで一回切れちゃうのですよ。今までの調査もみんな切れちゃう。新たな今度また病院改築なのですよ、新たな考え方。そこからいくと私はそういう意味で、今までのこの病院づくりの計画でなく。新たな病院づくりの計画をきちっとやっ払い町民、議会に示して、それをどんどんどんどん討論していい病院をつ

くっていく。人口に合った高齢化時代に合った患者に合った病院づくり新財政にも見合った。それから、あと過疎債ですか。こういう新たな部分も出てきたところに合った病院づくりをやったり本当に真剣にこれから新たな考えでいかなければならないなっていうことですから、私はこの検討委員会でもう一回と言ったのは。そのことなのです。

○委員長（西田祐子君） 氏家委員。

○委員（氏家裕治君） テーマというか、今回の所管事務調査のテーマは町立病院の現状なのです。将来そこまで踏み込むとなかなかちょっと厳しい問題も出てくる。今松田委員がいったとおりの新たな病院づくりをやろうとしたときに調査もしなければいけない、何もしなければいけない。そういう時間がないというのもあって、今回視察もやめました。そういうこともあって、今回のテーマというのは今の町立病院の現状について知り得るそういった自由討論であるのではあれば、今の現状の課題をしっかりととらなくてはね。そういう報告にしていくべきじゃないのかなと僕は思う。将来の病院像については特別委員会のようなそういう形の中で皆さんと一緒に議論していかなければならない問題じゃないのかなと思うのです。あまり深くここで当委員会が方向性云々まで踏み込むと本来取るべき所管事務調査の結果がテーマとちよつとずれてくる感じがします。だからもし自由討論するのであれば今松田議員が言われたとおり今の現状を、過去からさかのぼった現状を含めて議論して、そしてまとめていくというのはいいような気がします。

○委員長（西田祐子君） 広地副委員長。

○副委員長（広地紀彰君） 結論から言えば氏家委員のおっしゃるとおりです。ただ町民ニーズ現状を踏まえると当然、町立病院に町民が求めていることを触れなければいけないので、それは結局将来の病院の改築に向けての考え方につながってくると思いますし、まずきちっと現状を押さえると。そして、それらこれからの病院づくりに活かされるという考え方でいえば氏家委員のおっしゃるとおりだと思いますので私もそれでいいと思います。

○委員長（西田祐子君） 松田委員。

○委員（松田謙吾君） そのとおりなのです。今の町立病院の現状ということは、これはもう皆さんご承知のように病院をどうしても続けていくとなれば、猪原院長にとにかく1億円くらいきちっと伸ばしなさいと。これもきちっとクリアにして、そして今何億の赤字だと騒いだ中、先般広地委員に質問の中で答えている今真水は9,800万円だったですか。このぐらいだと、ぐんと下がったわけです。この辺の現状はもう何も改めて議論する必要も私はないかなと思っているのだ。要はこの1年間で病院ががらっと変わったと思えるぐらい変わったわけだから。だから私は今は当時の2年前からすると、それこそ10月21日ですか。町長の公述のときから廃止からするとがらっと病院は今いい方向に向かっている。この現状だけは今改めてそんなにやらなくたって、私はわかりきった話ではないのかなと思う。その辺のことなのだ、言いたいことは。

○委員長（西田祐子君） 大淵委員。

○委員（大淵紀夫君） 要するに病院は今の専門部会で12月までに一定のこういう形というものを出すということが、この間の懇談会で出ました。これははっきりしている。そしてそれに

基づいて、3月31日までに町としては大まかな方向を出す。ここもはっきりしている。そうすると今議会が一番必要なことは何かというと今みんなから出ているのは、それをもっと早められないかということなのです。そこがないから進んでいかないといっているわけです。それから彼が言っているのはそこなのだから。だから自由討論の中でやっぱりそういうこと早めるという意義がどこにあるかというところをきちんと議論して、現状把握した上で早それを議論して、だからこういう理由だから、もっと早くならないのかというのを議会が提言するくらいにしか今回はならないでしょ。だから、何を眼目でやるかという、今回はこういう病院をつくれということまで議論できないわけでしょ。現状なのだから。だからそうだとしたら早めないのでまずいと議会が言っているわけなのだから。みなさんも同じことを言っている。だからその理論をきちっとつくって、やっぱりこういう理由だからとにかく3月といわないで2月なら2月に出せというふうなことで迫るしか議会としては現状としては何もないのだ。

○委員長（西田祐子君） 氏家委員。

○委員（氏家裕治君） その早めるのはそのとおりだと思う。僕が言いたいのは検討委員会に任せている。まちの考え方をちゃんと示さないということが僕は検討委員会が出したのに対してまちがそれに乗かって結局最後に検討委員会で話たからこういう病院をつくったとかそういう逃げ口実には使ってもらいたくないと思う。あくまでまちがまちとして、やっぱり10年後20年後30年後の白老のまちのことを考えて、そのまちにとってどういった病院が必要なのかという方向性を示してそれを検討してもらいたいのはいいのだけれども。何かそこがそこまで所管事務調査の報告の中でその辺をつっこめるのかどうかはちょっとわからないから。自由討議の中でみんなと色々な意見を交わしながら大淵委員がいわれた部分も含めてやられたらどうかなど。

○委員長（西田祐子君） 大淵委員。

○委員（大淵紀夫君） だから、そうであれば議会が検討委員会に町長が入りなさいといえいいのだ。今7月でしょ。12月までに出すという病院だけの検討委員会にやらせないで議会が町長入ってお前やれと言えいいのでしょ。そういうことを議会が提言しないとだめなのだ。それが、みんなの賛同を得られるか知らないよ。だけど長年、議会が動く、議会が動かすということは、今の検討委員会のやり方ではダメだと。ここがだめだから町長あんた入ってやりなさいと言えいいのだ。やるかやらないかは町側が決めることだけど。議会の役割というのはそういうものだと思う。だから今すごくいい意見だと思う。そういうことを議会が示さないとだめのだよ。そして入らなかつたらお前俺らがあれだけ町長に入れっていったのに入らなかつたから、こういう結果になったのではないかとこうなるしょ。それでなかつたら、いつまでも何にもしないで待っていて。やっぱり、議会の行政のいうとおりにやったとしかならないよ。だから議会が果たす役割とはそこが大切なのだ。二元代表制の原則ってそこにあると思います。

○委員長（西田祐子君） 及川委員

○委員（及川 保君） 全くそのとおりなのだけれど、きょう私、松田委員のほうから病院の改築場所が白小あとだど。こういうふうなお話があるというふうに聞いてこれをまた愕然とし

ただ、こういうことが何も検討委員会の中で議論されているのかもしれないけど全く知られない中でいつの間にか白小の跡地に決まったよと、こんな話になったらどうもまずいんじゃないの。

○委員長（西田祐子君） 松田委員。

○委員（松田謙吾君） それは山本会長が言ったから言ったのだよ。山本会長が場所はここに決まっているというから私はそのように私も聞いたと。山本会長は、それはおかしいことだと。山本会長は向こうに建てべきだと。4・6と連携させて、噂ではここって決まっていると。山本会長が言ったから私も聞いたと。

○委員長（西田祐子君） 及川委員。

○委員（及川 保君） そういった経過の中で何も知らされていない中で議会も進んでいっているということが自体も、どうも私疑問なんだよこれ。だからやっぱり、議会もどこかできちっと議会は議会の意見を反映させるようなところがないと。どうにもこれまた結果的には白木さんの相談役もいっていたよ。行政の中だけで、とんとんとんといつの間にか決まって形ができ上がって、それは一番楽なことかもしれないよ。けど後から50年先にまた失敗したなど何でこういうふうになったのだとならないように、やっぱり進めていくのは一番。だから今皆さんがいったことにつながっていくと思うのです。途中、町長がやっぱりきちとした姿勢を示した中で、物事が進んでいかないと結果的にはまた同じようなことが起きてしまという気がするのです。

○委員長（西田祐子君） 大淵委員。

○委員（大淵紀夫君） 論点整理が終わればきょうこのままやるのかやらないのかはっきりして、やるのだったら論点整理をして、そしてこういうことで、この次もう一度自由討議をやりまますというふうにしたほうがこの議論をずっとやっても仕方ない。

○委員長（西田祐子君） 広地副委員長。

○副委員長（広地紀彰君） 広地です。皆様からの精力的にご意見をいただいている程度踏まえないといけない観点は出たと思うのですよ。ただ、やっぱりきちっとやったほうがいいと思うのです。観点をちゃんと整理をして1点目、2点目、3点目と整理して報告すべきだと思います。ですので私は日を改めたほうがいいと思います。その今議論を伺っていると、まずその検討の仕組みづくりです。情報共有のあり方とか、あと議会町民とのかかわり方、そういった検討の仕組みづくりについてのご意見、各自それぞれお持ちですし、それを言わなきゃだめな時期だと思うのです。あとは、その政策的な観点を踏まえるべきという意見もあったと思います。町長がその検討委員会に参画すべきか否か、そういった部分を議論があると思うのですよ。ただ、町長が入るかどうとかそれ以前の問題になり政策的な極度の政策的な話し合いになれるので、これはやっぱりそういったその政策の考え方というのをどのようにやっていくのかということの議論になると思うのです。これも観点として皆で議論し合うべきだと思うのです。とりあえずまずその2点だけはまず間違いなくテーマとして自由討議のテーマになりうるのかなと思いつつ聞いていました。あともう1点ほどあれば3点ぐらいの柱でやっていった

らいいにかなと。とりあえず、議論を整理しただけです。

○委員長（西田祐子君） 大淵委員。

○委員（大淵紀夫君） 例えば具体的なことについて、きちっと議会で協議して出していくということしないと混乱起こるでしょ。きょうの話だったら白小の跡地にできてしまうようなかっこうになってしまうから。だから、そういうことについてはきちっと町と議会とが議論しながら進めるという具体的な説明がないとおかしいでしょ。方向づけができないって。朝から晩まで氏家さんはずっと言っているのだ。だけど具体的なことがあそこの跡地として出てきたらどうなるのだ。だからそういう具体的なものは、やっぱり議会と町がちゃんと話して進めるというふうにしないとね。それ噂だとか進めたとかという次元の話ならどうにもならんしょ。そこから辺きちっと町に申し上げて報告すると、その3つくらいの観点にすればいいのではないかと思います。

○委員長（西田裕子君） 氏家委員。

○委員（氏家裕治君） 僕は常日頃思うのだけど、まちの青写真は見えないでしょ。果たして10年後、20年後白老の町ってどうなっていくのかと。僕が議員になって12年たつのですよ。その当時から言っているんですよ。どの町長に変わっても、町長もまちづくりのビジョン出してと。松田委員もきょうの懇談会の中で言っていますけれども、町営住宅をこういうところでこうやってつくるのだと。その中心に病院があって、これが青写真なのだ。これがないから議論できないの。だからどういう病院つくるとなったって町の考え方が何も無いから、話が進まない。だから今大淵委員の言うように皆でその辺の部分を中心に議会として報告すると。だから、ちゃんとまちも検討委員会に入ってちゃんと責任を持って議論しなさいということを書いていくべきだ。その辺についての議会の考え方をまとめていくことが大事なのかなと、テーマをその3つくらいに絞って1回やったほうがいいのではないかと思います。

○委員長（西田祐子君） 皆さんからいただいたご意見。まず検討委員会の方針と町長の方針これが期待であるべきだというお考えから、やはりこのまちづくりについてのきちっとした考え方も含めた上での町立病院のあり方というそういうものとして示してくださいと。2点目が、検討委員会はきちっと情報公開し町民参加のできる中でのきちっとしたそういうものをしていってくださいと。3点目が、議会ときちっと協議しながらそして、そういうまちづくりというものを原案というのですか、そういうものをぜひ早急に示してほしいと。以上のような3点の形で次回検討させていただくという形よろしいでしょうか。

暫時休憩いたします。

休 憩 午後1時45分

再 開 午後1時47分

○委員長（西田祐子君） 休憩を閉じて会議を再開いたします。

7月30日13時から町立病院の現状について最後の取りまとめをしたいと思います。皆さんよろしくお願ひいたします。ほかにございませんか。

以上で、本日の産業厚生常任委員会終了いたします。

(午後 1 時 4 8 分)